



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 UBE株式会社 上場取引所 東
コード番号 4208 URL <https://www.ube.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 泉原 雅人
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 中山 真吾 TEL 03-5419-6110
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	332,947	△9.6	12,307	△5.2	23,175	—	19,946	—
2023年3月期第3四半期	368,394	△22.7	12,988	△60.5	△4,532	—	△2,385	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 34,511百万円 (493.8%) 2023年3月期第3四半期 5,812百万円 (△67.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	205.51	205.41
2023年3月期第3四半期	△24.60	—

(注) 2023年3月期第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	755,963	405,236	50.9
2023年3月期	732,681	381,631	49.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 384,941百万円 2023年3月期 361,611百万円

(注) 2024年3月第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	45.00	95.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	484,000	△2.2	17,000	4.9	26,500	—	21,500	—	221.51	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	106,200,107株	2023年3月期	106,200,107株
2024年3月期3Q	9,131,516株	2023年3月期	9,159,538株
2024年3月期3Q	97,057,787株	2023年3月期3Q	96,952,420株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。当日の説明内容及び質疑応答につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2024年2月5日（月）・・・・アナリスト、機関投資家向け決算説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) セグメント別の説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間においては、売上高は、2022年12月に医薬品受託製造会社を買収した効果があったものの、樹脂・化成品セグメントにおいてナイロンポリマー・カプロラクタム等の販売が低調に推移した影響が大きく、減収となりました。

営業利益は、機械セグメントの販売が堅調に推移し、また医薬品受託製造会社を買収した効果があったものの、樹脂・化成品セグメントにおいてナイロンポリマーやファインケミカル等の販売が低調に推移した影響が大きく、減益となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、セメント関連事業（持分法適用関連会社）において石炭などエネルギー価格高騰を反映させた販売価格への是正等を進めたことにより持分法投資損益が改善し、増益となりました。

この結果、当社グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

単位：億円

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期①	3,329	123	232	199
前年同期②	3,684	130	△45	△24
差異①-②	△354	△7	277	223
増減率	△9.6%	△5.2%	-	-

(注) 2023年3月期第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) セグメント別の説明

(売上高)

単位：億円

セグメント	当第3四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
機能品	468	474	△6	△1.3%
樹脂・化成品	1,837	2,252	△415	△18.4%
機械	656	693	△37	△5.3%
その他	583	506	77	15.2%
調整額	△215	△241	27	-
合計	3,329	3,684	△354	△9.6%

(営業利益)

単位：億円

セグメント	当第3四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
機能品	83	85	△2	△2.2%
樹脂・化成品	△6	33	△38	-
機械	44	26	17	66.9%
その他	26	17	8	49.5%
調整額	△24	△31	8	-
合計	123	130	△7	△5.2%

(注) 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用（各セグメントに帰属しない一般管理費等）及びセグメント間取引消去額の合計額です。

機能品 … 減収減益

ポリイミド事業は、ディスプレイ及びスマートフォン需要減退の影響により、減収となりました。分離膜事業は、バイオガス関連用途を中心に需要が好調に推移したことから、増収となりました。セラミックス事業は、軸受や基板用途の需要が好調に推移したことから、増収となりました。セパレータ事業は、自動車生産が漸次回復基調であるものの、上期が低調に推移した影響等により、減収となりました。

機能品セグメント全体としては、分離膜事業、セラミックス事業は好調に推移したものの、ポリイミド事業、セパレータ事業等の影響により、減収減益となりました。

樹脂・化成品 … 減収減益

■ パフォーマンスポリマー&ケミカルズ事業

コンポジット事業は、自動車生産は回復傾向にあるものの、非自動車用途の需要が低調に推移したことから、減収となりました。

ナイロンポリマー事業は、食品包装フィルム用途等の海外需要は回復傾向にあるものの、上期に販売数量が減少した影響が大きく、減収となりました。

カプロラクタム・硫安事業は、需要減退により販売数量が減少し、ベンゼンやアンモニアなど原料市況の下落等により製品の販売価格も低下したことから、減収となりました。

工業薬品事業は、アンモニア工場で隔年実施の定期修理がなく販売数量が増加したものの、製品市況が下落したことから、減収となりました。

ファインケミカル事業は、製品市況下落に伴い販売価格が低下したことに加え、需要減退により販売数量も減少したことから、減収となりました。

■ エラストマー事業は、自動車タイヤ向けをはじめ需要が低調に推移したことにより販売数量が減少し、また原料市況の下落により製品の販売価格が低下したことから、減収となりました。

■ 樹脂・化成品セグメント全体としては、アンモニア工場における隔年の定期修理はなかったものの、需要減退によりナイロンポリマーやファインケミカルの販売が低調に推移した影響等が大きく、減収減益となりました。

機械 … 減収増益

成形機事業は、自動車産業の設備投資が低迷していたことから、減収となりました。なお現在受注は回復傾向にあります。

産機事業は、機械製品に対するメンテナンスなどサービスが堅調に推移したことから、増収となりました。

製鋼事業は、国内外の需要減退により販売数量が減少したことから、減収となりました。

機械セグメント全体としては、成形機事業や製鋼事業における減収が大きく売上高は減少しましたが、営業利益については成形機事業、産機事業ともにサービスが堅調に推移し、また製鋼事業において原燃料価格が下落したことから増益となりました。

その他 … 増収増益

医薬事業は、2022年12月に医薬品受託製造会社（株）エーピーアイコーポレーション）を買収した効果により、増収となりました。

電力事業は、石炭価格の下落に伴い売電価格も低下したことにより、減収となりました。

その他セグメント全体としては、医薬品受託製造会社を買収した効果が大きく、増収増益となりました。

セメント関連事業（持分法適用関連会社「U B E 三菱セメント(株)」）

国内市場では、セメントの販売数量は減少しましたが、石炭などエネルギー価格高騰を反映させた販売価格への是正とコスト改善を行いました。海外（北米）市場では、前年度第4四半期に天候不順により滞っていた生コンの出荷があり、また販売価格も上昇したことにより、採算が改善しました。これらにより、セメント関連事業の損益は大幅に改善しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,175	31,579
受取手形、売掛金及び契約資産	106,998	99,599
商品及び製品	56,754	58,136
仕掛品	23,881	31,807
原材料及び貯蔵品	46,373	45,834
その他	18,044	20,161
貸倒引当金	△109	△107
流動資産合計	283,116	287,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,264	51,606
機械装置及び運搬具（純額）	95,326	92,766
土地	36,701	37,201
その他（純額）	25,747	30,747
有形固定資産合計	209,038	212,320
無形固定資産		
のれん	1,472	1,485
その他	7,314	6,963
無形固定資産合計	8,786	8,448
投資その他の資産		
投資有価証券	198,393	212,923
その他	33,462	35,364
貸倒引当金	△263	△268
投資その他の資産合計	231,592	248,019
固定資産合計	449,416	468,787
繰延資産	149	167
資産合計	732,681	755,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,241	63,338
短期借入金	55,137	66,784
コマーシャル・ペーパー	3,000	5,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	1,528	3,004
賞与引当金	5,258	2,545
その他の引当金	1,105	932
その他	36,963	41,482
流動負債合計	172,232	193,085
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	95,520	71,973
引当金	2,027	2,755
退職給付に係る負債	7,219	7,364
資産除去債務	1,199	1,219
その他	12,853	14,331
固定負債合計	178,818	157,642
負債合計	351,050	350,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	40,371	40,375
利益剰余金	257,957	267,374
自己株式	△21,676	△21,609
株主資本合計	335,087	344,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,698	6,251
繰延ヘッジ損益	△143	1
為替換算調整勘定	23,740	33,911
退職給付に係る調整累計額	229	203
その他の包括利益累計額合計	26,524	40,366
新株予約権	71	71
非支配株主持分	19,949	20,224
純資産合計	381,631	405,236
負債純資産合計	732,681	755,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	368,394	332,947
売上原価	305,724	272,826
売上総利益	62,670	60,121
販売費及び一般管理費	49,682	47,814
営業利益	12,988	12,307
営業外収益		
受取利息	79	242
受取配当金	1,245	3,565
受取賃貸料	622	632
負ののれん償却額	26	—
持分法による投資利益	—	8,974
為替差益	560	534
その他	871	684
営業外収益合計	3,403	14,631
営業外費用		
支払利息	573	712
賃貸費用	397	409
持分法による投資損失	16,315	—
その他	3,638	2,642
営業外費用合計	20,923	3,763
経常利益又は経常損失(△)	△4,532	23,175
特別利益		
固定資産売却益	344	44
投資有価証券売却益	296	136
持分変動利益	8,265	712
関係会社清算益	1,180	—
退職給付制度終了益	245	—
特別利益合計	10,330	892
特別損失		
固定資産処分損	629	635
投資有価証券売却損	1,154	—
投資有価証券評価損	260	5
減損損失	766	142
特別損失合計	2,809	782
税金等調整前四半期純利益	2,989	23,285
法人税等	6,059	3,535
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,070	19,750
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△685	△196
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,385	19,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,070	19,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	1,593
繰延ヘッジ損益	30	39
為替換算調整勘定	4,305	7,385
退職給付に係る調整額	△349	62
持分法適用会社に対する持分相当額	5,080	5,682
その他の包括利益合計	8,882	14,761
四半期包括利益	5,812	34,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,934	33,788
非支配株主に係る四半期包括利益	△122	723

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,989	23,285
減価償却費	18,854	19,658
減損損失	766	142
のれん償却額	—	68
負ののれん償却額	△26	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	2
受取利息及び受取配当金	△1,324	△3,807
支払利息	573	712
持分法による投資損益 (△は益)	16,315	△8,974
持分変動損益 (△は益)	△8,265	△712
固定資産売却損益 (△は益)	△344	△45
売上債権の増減額 (△は増加)	7,614	9,344
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,033	△5,987
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,604	△6,530
その他	△7,732	6,163
小計	8,963	33,319
利息及び配当金の受取額	5,119	5,363
利息の支払額	△621	△705
法人税等の支払額	△8,363	△3,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,098	34,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△17,239	△21,831
有形固定資産の売却による収入	395	244
投資有価証券の取得による支出	△152	△26
投資有価証券の売却による収入	563	253
関係会社出資金の払込による支出	△2,465	—
関係会社株式の取得による支出	△1,374	△1,073
関係会社株式の売却による支出	△420	—
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△5,249	—
匿名組合出資金の払戻による収入	—	300
短期貸付金の増減額 (△は増加)	8,245	△2,660
その他	104	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,592	△24,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,222	△1,577
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	10,000	2,000
長期借入れによる収入	3,696	53
長期借入金の返済による支出	△7,133	△10,841
社債の発行による収入	9,950	9,949
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△37	△5
配当金の支払額	△9,684	△9,213
非支配株主への配当金の支払額	△942	△448
その他	△407	△490
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,665	△10,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	731	878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,098	380
現金及び現金同等物の期首残高	78,761	30,703
会社分割に伴う現金及び現金同等物の減少額	△43,267	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,396	31,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	36,053	205,608	68,847	57,886	368,394	—	368,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,351	19,609	456	△7,275	24,141	△24,141	—
計	47,404	225,217	69,303	50,611	392,535	△24,141	368,394
セグメント利益 (営業利益)	8,517	3,278	2,609	1,714	16,118	△3,130	12,988

(注1) セグメント利益の調整額△3,130百万円には、セグメント間取引消去140百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,270百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	34,654	167,042	65,327	65,924	332,947	—	332,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,111	16,691	314	△7,636	21,480	△21,480	—
計	46,765	183,733	65,641	58,288	354,427	△21,480	332,947
セグメント利益又は 損失(△)(営業利 益又は損失(△))	8,329	△566	4,354	2,563	14,680	△2,373	12,307

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,373百万円には、セグメント間取引消去178百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,551百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2024年3月期 第3四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	2023年3月期	2023年12月期	増減
連結子会社数	36社	36社	0
持分法適用会社数	15社	15社	0
合計	51社	51社	0

2. 業績概要

(注)億円未満四捨五入

(1)経営成績

(単位:億円)

項目	前第3四半期 (2022.4~2022.12)	当第3四半期 (2023.4~2023.12)	増減
売上高	3,684	3,329	△ 354
営業利益	130	123	△ 7
金融収支	8	31	23
持分法投資損益	△ 163	90	253
その他営業外損益	△ 20	△ 12	8
経常利益	△ 45	232	277
特別損益	75	1	△ 74
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 24	199	223
1株当たり四半期純利益	△24円60銭	205円51銭	230円11銭

(注)・2023年3月期第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

為替レート(円/\$)	136.5	143.3	6.8
ナフサ価格(円/KL)	80,000	68,100	△ 11,900
豪州炭価格(円/t) <豪州炭(CIF)>	55,628	28,873	△ 26,755

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目		前第3四半期 (2022.4~2022.12)	当第3四半期 (2023.4~2023.12)	増減
売上高	機能品	474	468	△ 6
	樹脂・化成品	2,252	1,837	△ 415
	機械	693	656	△ 37
	その他	506	583	77
	調整額	△ 241	△ 215	27
合計		3,684	3,329	△ 354
営業利益	機能品	85	83	△ 2
	樹脂・化成品	33	△ 6	△ 38
	機械	26	44	17
	その他	17	26	8
	調整額	△ 31	△ 24	8
合計		130	123	△ 7

(注)・営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計額です。

(2)財政状態

(単位:億円)

項目	前期末 (2023.3末)	当第3四半期末 (2023.12末)	増減
総資産	7,327	7,560	233
有利子負債	2,181	2,182	1
自己資本	3,616	3,849	233

(注)・2024年3月期第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3)キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

<参考>

項目	当第3四半期 (2023.4~2023.12)	前第3四半期 (2022.4~2022.12)
営業活動CF	348	51
投資活動CF	△ 247	△ 176
財務活動CF	△ 106	87

税金等調整前四半期純利益233、減価償却費197、持分法による投資損益△90 他

有形・無形固定資産の取得△218、短期貸付金の増減△27 他

有利子負債の増減△9、配当金の支払△97 他

(注)・2023年3月期第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3. 通期業績予想

2023年11月2日に発表した業績予想に変更はありません。

(単位:億円)

項目	2023年3月期	2024年3月期 <予想>	増減
売上高	4,947	4,840	△ 107
営業利益	162	170	8
経常利益	△ 87	265	352
特別損益	61	△ 20	△ 81
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 70	215	285
1株当たり当期純利益	△72円54銭	221円51銭	294円05銭
年間配当金	95円	100円	5円

(注)・2024年3月期第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

〔参考〕連結主要指標

(単位:億円)

項目	前第3四半期 (2022.4~2022.12)	当第3四半期 (2023.4~2023.12)	2024年3月期 <予想>	2023年3月期
設備投資	193	195	410	293
減価償却費	189	197	245	255
研究開発費	76	76	110	104
事業利益	△ 20	251	280	△ 55
有利子負債残高	2,227	2,182	2,180	2,181
自己資本	3,658	3,849	3,850	3,616
総資産	7,499	7,560	7,600	7,327
D/Eレシオ(倍)	0.61	0.57	0.57	0.60
自己資本比率(%)	48.8	50.9	50.7	49.4
売上高営業利益率(%)	3.5	3.7	3.5	3.3
総資産事業利益率(%)	-	-	3.7	△0.7
自己資本当期純利益率(%)	-	-	5.8	△1.9
従業員数(人)	8,109	8,019	8,120	8,028

(注)・2023年3月期第4四半期連結会計期間において、セメント関連事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

- ・2024年3月期第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2023年3月期第3四半期連結累計期間及び2023年3月期連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。